

# 平成19年度 土清絵画作文コンクール表彰式

日時；平成20年2月23日（土）10時～11時

場所；谷川土清旧宅

## 式次第

- 一 開会（10時）司会進行係で来賓・審査委員紹介
- 二 あいさつ 主催者挨拶：川瀬利夫代表  
来賓挨拶：津市教育次長 黒田英二氏
- 三 表彰式：作者名・学校・学年を紹介、賞状・副賞授与。  
副賞は図書カードで、参加賞は応募者みんなに「土清生誕300年記念」の文字入りのボールペンだった。  
発表：絵画で市長賞の福島藍さんが作品の意図を発表。  
続いて作文で市長賞の片山優史さんが元気に作文朗読。

## 四 講評：

絵画の部（谷岡経津子顧問・日展会友・大学教授）

「市長賞の福島さんは、自分の目で見て感動したこの旧宅の瓦や連子格子を丁寧に写生してあります。以前受賞した時は土清の肖像でしたね。他の人の作品にも素晴らしい面があり、中には土清さんが自分の顔になっていたのもあったよ」

作文の部（竹内令さん、会員・作家）

「審査上の主な観点は、まず谷川土清への関心と感動が自分のものになっていて、自分の言葉でその感動が述べられていること、多少聞き間違いがあるのは小学生だから致し方がないが、今後それを追究していく姿勢があること。そして行動に移している点です。その点で市長賞の片山君はこの作文の他に『片山新聞』という記者になって、まず家族に土清さんの立派な仕事ぶりを知らせ、津市だけでなく三重県全体にも広めていきたい、と書いています。教育長賞の木佐貫さんは字がしっかりと書かれ、五感のうちの味覚を使ったことなどに感心しました」

## 五 閉会（10時50分）後、記念撮影

《入賞作品の作者紹介》 応募総数88点

### 絵画の部

土清大賞：該当無し 津市長賞：福島 藍（南が丘中1年） 教育長賞：塩崎真央（新町小3年）

特選 南条朱音（新町小6）、塩崎真由（新町小1）

入選 前田ともな（西が丘小4）、堀 礼人（榊原小3）、木佐貫 蘭（養正4）

### 作文の部

土清大賞：該当無し 津市長賞：片山優史（西が丘小4年） 教育長賞：木佐貫 蘭（養正小4年）

特選 益川 薫（上野）、植田明日香（修成）、松本高陽（修成）、中根拓也（修成）、丹羽智士（修成）

入選 川内瑞生（神戸）、杉田芽生（修成）、山本明香里（修成）、芳村直哉（修成）、足立喬昭（修成）



絵画展示の前で記念撮影（2列目右端が代表）

## みえ歴史街道構想津地域推進協議会について…その発足から現在まで（抄）

別所 勝

当初は、平成8年の「みえ歴史街道構想～むすびのくにづくり～」構想や12年3月の「三重のまんなかネットワークビジョン」に沿って、平成12年7月、三重県の委託を受けて県民局単位で街道構想を推進するための計画づくり事業の展開をはかろうと“みえ歴史街道構想・津・安芸・久居・一志地域推進協議会”を立ち上げた。参加者は、学識経験者・各種団体・企業・住民・NPO法人・行政側など40名で、谷川土清の会からも当時の増田孝代表他4名が参加。事務局は三重県津地方県民局生活環境部に置かれた。

組織は、①企画運営部会 ②イベント部会 ③ボランティアガイド部会の三部会で構成され、講演会、ウォーキング、ボランティアガイド団体交流会、先進地見学研修会等の行事を各部会の企画に沿って実施。

この協議会も発足8年目、設立時の4自治体は合併ですべて津市になり、名称も“みえ歴史街道構想津地域推進協議会”となって、5頁で紹介したような活動をしている。

## 編集後記

我が谷川土清の会の新代表・川瀬利夫氏が、平成20年の津市議会議長になられたとのニュースをこの会報編集にお聞きした。いよいよ1年後に迫った土清生誕300年祭関連の事業開催についても、津市は高虎公入府400年記念行事だけでなく力を配分し、言葉文化の原点ともいえる土清の業績を皆さんに知っていただきたいものである。竹内令さんの著書を手がかりに…。(S)

文責：編集係(佐野) 印刷：西尾プリント(株)  
<059-232-2227>

## 新入会員募集中

連絡先：059-223-6527（馬場）  
土清の旧宅見学は自由。ガイドの申込は、市教委文化財担当が直接旧宅へ：059-225-4346